

## 会議録報告書

会議名	令和7年度 第2回愛荘町まちじゅう読書推進協議会会議録（発言要旨）
開催日時	令和7年（2025年）11月5日（水） 午後7時30分～午後9時00分
開催場所	愛荘町立秦荘図書館
出席者	平野宏文委員、北川知栄子委員、大辻登代子委員、綿谷駒太郎委員、山田康義委員、柳田安代委員、野村仁美委員、奥村晃委員、寺田光子委員、三浦寛二委員
事務局	図書館 三浦寛二（事務局兼任）、伊藤理志
傍聴者	0人
議題	（1）愛荘町まちじゅう読書推進事業（文部科学省委託事業）について （2） その他
審議内容	<p>（事務局） 本協議会は愛荘町まちじゅう読書推進協議会設置要綱により設置運営されています。定足数に達しておりますので、会議が成立しています。</p> <p>（会長） それでは議案1、愛荘町まちじゅう読書推進事業（文部科学省委託事業）の進捗状況について事務局よりお願いします。</p> <p>（事務局） 文部科学省の委託事業として行う事業の進捗状況をご説明します。 まず、「愛荘町まちじゅう読書推進活動・町のあちこちに読書コーナーを設置しよう」です。社会教育委員会議のみなさまがまちじゅう読書の推進に取り組まれており、今年度本棚の設置の活動をされています。委託事業としては、本棚づくりの原材料費と講師指導料を充てました。本棚は町内13か所に設置しており、さらにマップを作成、配布される予定です。また、この事業ののぼりや、読書推進ポスター、チラシを作成しました。</p> <p>次に、「愛荘66かまど祭り」での「本の交換会」の開催です。こちらは社会教育委員会議が主体となり、開催を予定されています。今年11月16日（日）に開催を予定されています。こちらも、ぜひご参加をお願いします。</p> <p>次に、講座の開催です。まず、スマホ、SNSの正しい使い方と図書館資料の活用法に関する講習会の開催です。こちらの講習会は、スマートフォンなど情報機器の使い方と図書館資料の活用法に関する講習会を実施し、活字媒体と電子媒体の両方の使い方に親しむとともに、図書館の利活用につなげることを目的に開催しました。愛知川東小学校と秦荘西小学校の学校図書館と、愛知川、秦荘の両区</p>

書館で開催しています。

次に、としょかんで外国語や異文化と親しもう！です。多文化共生を目指し、学校図書館や町立図書館で外国語と親しむ時間を持ち、異文化交流のきっかけとすることを目的に、こちらも学校図書館と町立図書館で開催しました。

次に、愛荘町読書記録活動、リーディングアーチェリー愛荘です。読書記録をつけることを目的としており、現在開催中です。

次に、愛荘町の将来を町立図書館や学校図書館で考えよう（愛荘町版キャリア教育・ようこそ先輩）です。キャリア教育を図書館でやってみようという催しです。主に小中学生を対象として、愛荘町の将来と子どもたち自身の将来を、愛荘町在住の起業家とともに考える講座を学校図書館や町立図書館で開催します。講義では愛荘町の産業や歴史、講師自身の愛荘町への思いや起業や業務への思いを、図書館資料を用いつつご紹介いただくもので、こちらも学校図書館と町立図書館で開催しました。なお、一部講座はこれからの開催となります。

最後に、来年1月31日（土）に成果報告会の開催を予定しています。

（会長）

文部科学省の委託期間は1年間と聞いていますが、今後の展望は。

（事務局）

この協議会の任期は2年間をお願いしていますので、特に66かまど祭りの本の交換会につきましてはこの協議会での継続しての実施をお願いしたいと考えております。その他の事業については、次年度の文科省の募集の有無や、採択の可否の状況を見ての実施となります。

（会長）

特に学校での講座はとても好評と聞いており、次年度以降もぜひ実施してもらいたい。外国語講座はボランティアでの開催を考えてもよいのでは。

（事務局）

ボランティアでの開催も考えるとともに、本来であれば何らかの御礼をする形での開催が望ましいとも考えていますので、今後の開催の可否や開催形態については学校とも相談のうえで進めたいです。

（会長）

本棚を置く活動は綿谷委員がされている放課後自習寺でも設置されていますが、活用状況はいかがですか。

（委員）

実際のところ、子どもたちがものすごく手に取っているかということそうでもない。ゲームの持ち込みもある中で、それでも本を読んでいる子どもはいる。あと、月曜日は未就園児さんが来られるのですが、その際に保護者の方と一緒に読んでいる、読み聞かせをしている姿を目にします。

(委員)

読み聞かせグループの月のくまさんに加入していますが、今後は本棚を置いた場所で月のくまさんが読み聞かせをしてもよいかなあ、とも思います。

チラシやのぼりに印刷されているまねき猫の名前は「ほんにゃさん」になりました。あと、現在作成中のマップはまもなく、全戸配布されます。

(会長)

本棚を設置したあとの状況はいかがですか。

(委員)

本棚の設置以後の運営は、設置されている方に一任していますので、図書館としては把握していません。あくまでも設置者にお任せする、自由に活用していただくという考えです。ただ、半年に一度くらいは様子を見に行くことを予定しています。

(委員)

学校図書館や町立図書館での、講師を招いて学校図書館での講演会は、本と利用者や児童生徒がつながる場での活用でもあり、とても良いことだと思う。こういった活動から読書活動やまちじゅう読書に、また地域の活性化につながればよいと思う。ぜひ継続してほしい。

(委員)

学校図書館での講義を一緒に見ましたが、講師のみなさんはただ外国語の本を読むだけでなく、こどもを巻き込んで本や外国語、異文化を楽しむことができた。また、外国ルーツの子どもたちも一緒に楽しめた姿が印象的でした。

(会長)

愛荘町は外国人居住率が県内2位。意識してこのような講座の開催やサービスをすすめ、地域の活性化や交流に活かしてほしいです。そのほか、こんにちは赤ちゃん訪問も意識してはいかがでしょうか。

(事務局)

学校図書館や町立図書館でも、とても良い反応が得られたと思います。反省点

としては書店連携のありかたが難しく、次年度の開催が可能であれば、たとえば市販されている本の紹介を配布するなどを検討したいです。

(委員)

県書店商業組合の企画として、「木曜日は本曜日」の企画があります。これは、県が受託した方の文科省の事業で実施しています。内容は、有名な方に本を紹介していただき、書店に置く事業ですので、ぜひご覧ください。

(会長)

そのほか、キャリア教育でも、教育振興課やみらい創生課との連携ができそうですね。

(委員)

読み聞かせグループの月のくまさんですが、一部の小学校で 40 分授業午前 5 時間制となり、朝の時間が取れなくなり朝に読み聞かせができなくなっており、困っています。

(委員)

40 分授業午前 5 時間制となると、確かに朝の時間が短くなります。読み聞かせもきてほしいですが、昼しか時間が取れない状況です。

(委員)

学校図書館では異文化交流の事業では、実施していない学年からも受けたいという意見がありました。読書離れ、活字離れは、本を読む子が減っている気がします。それでも、読書している児童がいると読書の輪が広がる姿が見られます。秦荘西小学校は 40 分授業となって 2 年目ですが、集中力が上がって、児童のアンケートでは好評のようです。

(会長)

新しいことをする際にはメリットもあるがデメリットもあります。なんとか興味関心を深める方法にもっていければよいなと思います。

(委員)

ボランティア頼みでの実施は限界がある。そうなると、人材の発掘と育成が必要になってきます。まちじゅう読書にかかわる人材の育成をお願いしたいです。

(会長)

昨今子どもの居場所が話題となっていますが、綿谷委員いかがですか。

(委員)

本を通じての場所という意味では、自分の好きなもので、本のジャンルでつながりができたりします。例えば、ファンタジーが好きな子どもの集まりなど、企画からつながりができて、そこが居場所になったりもします。本を読む、読まないではなく、好きなもの同士が集まることができればよいと思います。

(委員)

本のつながりという意味では、ほんてつ版の本の紹介合戦を、今年は7月と11月の今週末に開催します。あそぶっくの活動もあるので、いろいろなところで広がればよいと思います。

(会長)

では、その他の議題に移ります。開催回数ですが、本来は年4回を予定されていましたが、文科省事業は問題なく進んでいるようですので、次回開催は講演会と兼ねてはいかがでしょうか。

(異議なし)

では、次回開催について事務局からお願いします。

(事務局)

それでは次回開催について、1月31日に成果報告会と併せての開催を予定しています。よろしくをお願いします。

(会長)

では、副会長から閉会のあいさつをお願いします。

(副会長)

読書の二極化、本を読む家庭と読まない家庭の差が広がり、家に本がない家庭もある中で、まちじゅう読書や読書推進の取り組みを推進することはとても大切だと思います。この活動は地道な取り組みが必要ですが、ぜひ続けたいと思います。本日はありがとうございました。